



天文台だより

銀河の森天文台
2017 冬号
Vol. 74

11/12、驚き！おもしろ科学実験2016を開催！



谷口義明教授によるミニ講演会の様子

2016年11月12日に「驚き！おもしろ科学実験2016」を開催しました。今年には名古屋大学、北海道大学、北見工業大学、足寄動物化石博物館の実験コーナーが並び、鉱物・化石掘りやアイスクリーム・スライム作りなど、小さなお子様から楽しめる実験が多数でした。

ミニ講演会では、名寄市出身の放送大学谷口義明教授による講演「天文学者になってみた ～ 谷口少年の場合」を開催しました。子供のころは昆虫採集が好きで、高校では天文部に所属し、東北大学で天文学を学び研究の道へ進んでいったことなど、谷口先生の楽しく貴重なお話を聞くことができました。

おもしろ科学実験イベントは通常の観望会イベントと比べて、お子様連れのご家族がより多く参加されていて、にぎやかで活気あるイベントになりました。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

最近私自身びっくりしたことがあります。皆さんとシェアしたいと思えます。

太陽の磁場極性、黒点周期に見る太陽全体の活動度、ダイナモに伴う磁場再配位、、、など、太陽内部で何が起きているのかという未解決の問題にヒントを与える、いわゆる「黒点バタフライ構造」の歴史的発見は、E. W. Maunderによるものと思っていました(1904)。ところが、最近の Astron. & Geophys., 57, 19, 2016 (Royal Astro. Soc.)によりますと、この大発見の主要な部分は当時Maunderの友人であったAnnie S. D. Russell(2人は1895年に結婚)によってなされた(1889年以降)のですが、当時の世界の科学界の女性差別により、彼女の名前が論文に堂々と現れなかったようです。例えば、彼女はCambridge大学で教育を受けたのですが、卒業証書は受け取っていないこと、学会での口頭発表が許されていなかったこと、結婚したら公の職を失うこと、などです。

ところで、このRussell女史と M. キューリーは同年代(1867、68年生まれ)ですから、当時はフランスの方が「進んでいた」ということなのでしょう。



(上出洋介館長)

10/22、第4回学生サミット開催！

10月22日(土)、第4回学生星空サミットが開催されました。4回目となる今年は、道内の3大学(北見工業大学、東京農業大学オホーツクキャンパス、名寄市立大学)の天文サークルの学生58名が集まり、日頃の活動報告や天体観望などを行い交流を深めました。



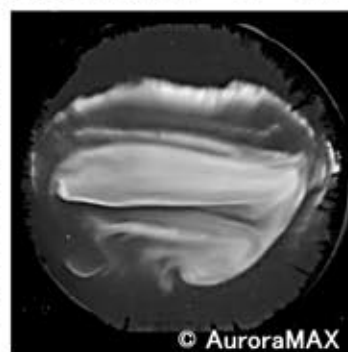
業大学、東京農業大学オホーツクキャンパス、名寄市立大学の天文サークルの学生58名が集まり、日頃の活動報告や天体観望などを行い交流を深めました。

「オーロラウィーク2017」

2/1～12、オーロラ生中継開催！

2017年2月1日(水)～12日(日)の期間、カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。「オーロラウィーク2017」では、現地で撮影されているオーロラの全天画像をリアルタイムで受け、天文台のプラネタリウムドームに投影します。期間中、上出館長によるオーロラ予報や「オーロラ、何でも質問コーナー」も開催します。

イエローナイフとの時差は、-16時間で、ちょうど天文台観望時間帯が現地の夜になります。現地が晴れていれば、高確率でオーロラが出現しています。ドーム内では、過去の素晴らしいオーロラのダイジェスト映像も上映しますので、ぜひご来館下さい。



© AuroraMAX

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
1月 1日	6:54	16:03	2.8	8:35	19:03
1月 15日	6:51	16:18	16.8	19:27	8:32
2月 1日	6:38	16:40	4.1	8:53	21:16
2月 15日	6:20	16:59	18.1	21:20	8:34
3月 1日	5:58	17:17	2.5	7:27	20:13
3月 15日	5:34	17:34	16.5	20:06	7:02

天文行事&暦

1月

- 12/30-1/5 天文台休館日
- 3 しぶんぎ座流星群が極大 (PM11時 最大40個/時)
- 5 小寒(24節気:太陽黄経285°)
- 12 ○満月
金星が東方最大離角 (光度:-4.4等, 離角:47.1°)
- 19 水星が西方最大離角 (光度:-0.1等, 離角:24.1°)
- 20 大寒(24節気:太陽黄経300°)
- 28 ●新月

2月

- 1-12 オーロラウィーク2017
- 4 立春(24節気:太陽黄経315°)
- 11 ○満月
- 17 金星が最大光度(-4.6等)
- 18 雨水(24節気:太陽黄経330°)
- 26 ●新月

3月

- 5 啓蟄(24節気:太陽黄経345°)
月面X(エックス)観望会
- 12 ○満月
- 20 春分(24節気:太陽黄経0°)
- 28 ●新月

冬のイベント情報!!

☆ オーロラウィーク2017

「カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継」

毎年多くの方に体験していただいているカナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継を今年も開催します。リアルタイムでドームに投影されるオーロラの様子をお楽しみ下さい。

開催日時: 2月1日(水)~12日(日)

中継: 午後2時~8時まで(投影時間:1回15分程度)

※ 現地の天候や観測状況により中継時間が変わることがあります。

協力: The AuroraMAX Observatory at Yellowknife, NWT, Canada is operated by The University of Calgary, The Canadian Space Agency, and Astronomy North.

2017年太陽系天体みどころカレンダー

○:満月 ●:新月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月	○12 ●28	○11 ●26	○12 ●28	○11 ●26	○11 ●26	○9 ●24	○9 ●23	○8 ●22	○6 ●20	○6 ●20	○4 ●18	○4 ●18
太陽	開館日は晴れていれば、太陽望遠鏡で撮影する現在の太陽の様子を見ることができます。											
水星							■	■	■	■	■	■
金星	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
火星												
木星				■	■	■	■	■	■	■	■	■
土星						■	■	■	■	■	■	■
天王星	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
海王星								■	■	■	■	■

★黒線期間が見頃の時期、点線期間は短時間ですが見える時期になります。天文台の開館時間にあわせて、太陽系天体の見頃の時期をカレンダーにまとめました。2017年も、月や惑星同士の接近、流星群、中秋の名月など、たくさんの天文イベントがあります。空を眺めて楽しみましょう☆天文台でお待ちしています!

☆月面X(エックス)観望会

上弦の月の3月5日夜、月面に「X」エックスの地形が浮かび上がります。月の地形での光と影のいたずらですが、午後7時から2時間ぐらいが見頃です。ぜひ、大型望遠鏡でじっくり観察してみてください。見逃すと次回は5月3日(水)になります。

開催日時: 3月5日(日)

説明会: 午後7時から

ペッコカめぐり「可愛いお客様」

今年がとり年だからという訳ではありませんが、この冬から天文台のバードテーブルに餌を置くようにしています。雪が積もる頃からぼつりぼつりと鳥たちがやって来るようになり、今では十数羽が代わるがわる餌を食べにやってくるようになりました。今のところ来ているのは「シジュウカラ」「ゴジュウカラ」「ハシブトガラ」と「ヤマガラ」の4種類。そのうち他の鳥



バードテーブルに遊びに来たシジュウカラ

たちも遊びに来てくれるかな? 暖かい室内から観察することができるので、らくちんですよ。(中島)

天文台からのお知らせ

☆ 12月30日(金)~1月5日(木)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp